



松坂屋名古屋店 松坂屋美術館

## アートのある暮らしを提案

### 美術館・ミュージアム

古典美術から現代アートまで、国内外の人気作家の作品などをより気軽に身近にお楽しみいただけるよう、主要百貨店店舗内に設置した美術館、ミュージアムや多目的ホールにおいて、絵画、工芸、写真、絵本原画など、幅広い分野の話題性あふれる展覧会や各種イベントを随時開催し、ご来店のお客様に心豊かな生活のご提案と地域への文化貢献をはかっています。



川合玉堂(彩雨)1940年 東京国立近代美術館蔵



十五代 樂吉左衛門作 焼貫黒樂 銘 白駒  
1986年 樂美術館蔵

#### 2010年度の主な開催実績

- ミッフィー誕生55周年 ゴーゴ-ミッフィー展  
(大丸札幌店、神戸店、松坂屋美術館)
- 没後10年記念 三岸節子展  
(松坂屋美術館)
- 画集出版記念 ジミー大西 夢のかげら展  
(大丸心斎橋店)
- 帰ってきた江戸絵画  
ニューオーリンズ ギッター・コレクション展  
(松坂屋美術館)
- 棟方志功展  
(大丸京都店)

#### 2011年度の主な開催予定

- 昭和・メモリアル 与 勇輝展  
(松坂屋美術館、大丸神戸店、札幌店)
- 岩井光昭写真真展「ねこ」  
(大丸京都店、心斎橋店)
- 生誕110年記念 荻須高德展  
(松坂屋美術館)
- リカちゃん展 in OSAKA  
(大丸心斎橋店)
- 川合玉堂展 ～描かれた日本の原風景～  
(松坂屋美術館)
- 再興第96回院展  
(大丸心斎橋店)
- 茶碗 今を生きる ～樂歴代と時代を語る名碗～  
(松坂屋美術館)
- 武政健夫ガラス彫刻展  
(大丸京都店)



#### J.フロントリテイリング史料館所蔵「慶長小袖」が国の重要文化財に

1931年以来松坂屋では江戸時代の小袖をはじめとする約1万点にのぼる染織品等の収集を行ってまいりましたが、コレクションの一つである「慶長小袖」が、そのデザイン、染織技術、保存状態などの点で高く評価され、このたび文化庁から国の重要文化財の指定を受けました。J.フロントリテイリングでは、こうした当社グループが所蔵する文化遺産を未来に継承すると共に学術文化に寄与することを目的に「一般財団法人 J.フロントリテイリング史料館」を設立し、今後この大切な文化遺産の維持管理、公開・展示運営を行ってまいります。

「慶長小袖」新指定重要文化財お披露目公開予定  
会期：2011年7月9日(土)～8月7日(日)  
場所：松坂屋美術館

## 建築家W.M.ヴォーリスによるアール・デコの世界

1717年(享保2年)に創業した大丸呉服店が、現在の心齋橋店の地にショーウィンドウのある洋風の店舗を構えたのは1914年(大正3年)。それから数年経った1918年(大正7年)10月、当時大阪でも珍しく個性的なゴシック様式の木骨4階建レンガ造りの百貨店が誕生しました。それが、W.M.ヴォーリス(1880-1964年)が大丸の建築を手掛けた最初でしたが、わずか1年4か月後には惜しくも焼失。現在の心齋橋店の建物は、4期に分けて計画的に建築が進められました。第1期工事は1922年(大正11年)に心齋橋筋側の南半分、第2期工事で同じく北半分を1925年(大正14年)、そして1932年(昭和7年)の第3期、翌1933年

(昭和8年)の第4期増築工事で御堂筋側を完成し、地上7階のネオ・ゴシック様式の百貨店が出現することになりました。

建物の中間層は重厚感のあるスクラッチタイル張り、これを挟むように1階は花崗岩張り、最上階の外壁はテラコッタで緻密にデザインされています。大丸のシンボルとなっている孔雀のレリーフが施された玄関をくぐり抜けて店内に入ると、天井のフレスコ画、中央エレベータホール上部のステンドグラス時計など華やかなディテールが次々と現れてきます。それらはすべて、幾何学模様や抽象化された花や樹木、雪や鉱物の結晶など、ひとつのトーンで統一された、アール・デコの世界です。

地域の店舗ごとに特色があるのが本来の百貨店。モノやサービスとともに、特別な時間・空間をお客様に提供する、心齋橋店としてのひとつのアプローチがここにあります。



大丸心齋橋店



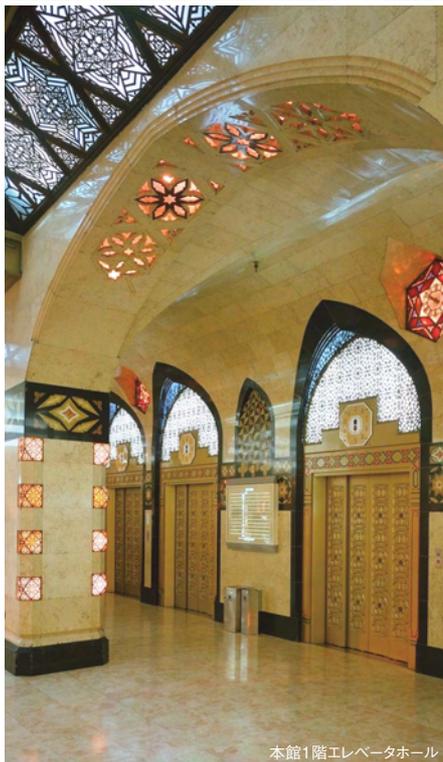
孔雀のレリーフ



本館中2階(メザニン)



レリーフ天井



本館1階エレベータホール



光と色彩の天井



フレスコ画の天井



ソップ寓話のステンドグラス



ステンドグラス時計